



unesco

Global Geopark

白砂青松と鳴き砂をめぐる道

琴引浜コース

琴引浜は全国でも有数の鳴き砂の浜です。鳴き砂は、昔は全国の浜でみられましたが、環境の悪化などで全国的にも数が少なくなっています。地元やボランティアの人々により守られている貴重な鳴き砂を体験してください

琴引浜は周囲に人工構造物の少ない砂浜で、映画やテレビのロケ地にもなっています。夏に多くの海水浴客が訪れる砂浜には、とても小さな微小貝もみられます。



山陰海岸ジオパーク散策モデルコース

初版:2013.1.29
最終更新日:2026.2.1

美しい自然を守るため、石や植物は観察するだけにしましょう。
危険な場所や立ち入り禁止の場所には入らないようにしてください。
持って帰るのは楽しい思い出と写真、そして地元のおみやげ!!



基本コース

スタート	*時間は徒歩
①琴引浜鳴き砂文化館 駐車場	2分 ↓ 約170m
丹海バス(琴引浜)	45分 ↓ 約2.4km
丹海バス(小浜)	1分 ↓ 約80m
大林寺	9分 ↓ 約700m
②小浜海水浴場	9分 ↓ 約700m
③水晶浜	40分 ↓ 約2.1km
④白滝神社	4分 ↓ 約200m
⑤琴引浜	20分 ↓ 約1.4km
①琴引浜鳴き砂文化館 駐車場	
総移動時間2時間7分 バス利用で1時間29分 全行程約7.5km	

オプションコース 離湖散策コース

スタート	*時間は徒歩
大林寺	5分 ↓ 約300m
岡古墳	5分 ↓ 約300m
⑥離湖公園	2分 ↓ 約160m
離山古墳・離湖古墳	12分 ↓ 約960m
大林寺	
追加移動時間24分 全行程約1.7km	

凡例

トイレ	基本コース
駐車場	オプション
食事	田
説明看板	畑
撮影スポット	果樹園
足元注意	道順
交通安全確認	

みどころいっぱい琴引浜

① 琴引浜鳴き砂文化館



琴引浜鳴き砂文化館は、鳴き砂をテーマにした資料館です。館内には世界各地の鳴き砂のほか、微小貝やウミガメ、海岸の漂着物なども展示しています。そのほか各種体験コーナーも用意されています。
(問)0772-72-5511
(9～17時/火曜休/大人290円)

② 小浜海水浴場



小浜海水浴場は網野町小浜の海水浴場で、西の八丁浜とあわせて約4kmのロングビーチを形成しています。夏の海水浴客のほか1年を通してサーファーでにぎわっています。砂は貝殻などの生物の破片が多く、ふんわりとしています。琴引浜の砂と比べてみてください。

③ 水晶浜



水晶浜には通常の石英より高温の状態で晶出する、高温石英の両錐形をとどめた石英粒がみられます。浜の周囲にはこの高温石英が含まれる凝灰岩の地層がみられます。

④ 白滝神社



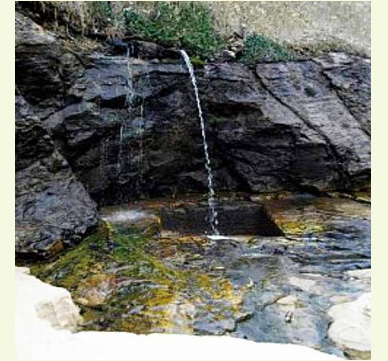
大国主命がまつられています。昔、大国主命が出雲の国より舟で通りかかったとき舟底に穴が空いて、今にも沈むという時、サザエが穴にはまって助かった、という言い伝えがあります。それ以来、この辺にはイガのない丸いサザエがいるといわれています。また、境内には北丹後地震で壊れた鳥居がそのままの形で保存されています。

⑤ 琴引浜



琴引浜は鳴き砂の浜として古くから知られており、細川忠興や与謝野晶子・鉄幹夫妻などの詩にも歌われています。一時期、砂の鳴きが悪くなったこともありましたが、地元の人々の努力により、鳴き砂の浜は今日まで守られています。砂浜の上を擦るように足で歩くと、クツ、クツと音がします。ただし、雨で砂が濡れていると鳴きません。

琴引浜の白滝



岩盤の上の砂丘に降る雨水が砂丘にしみこみ、地下水脈になり岩盤を流れ下り、海岸の崖から流れ出る水が白滝です。

琴引浜の温泉



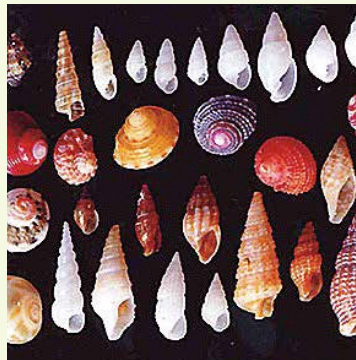
琴引浜には、源泉かけ流しの温泉があります。入浴は無料で、7月と8月以外は足湯として利用できます。※冬季はご利用いただけません。
【注意事項】
脱衣場はなし。混浴で、入浴時は水着を着用してください。シャンプー・石けん等の使用は禁止、砂を流してから利用してください。

琴引浜の太鼓浜



琴引浜の中心付近は、足で踏んだり、こぶしでたたくと「ドンドン」と鳴きます。このことから、特に「太鼓浜」と呼ばれています。

琴引浜の微小貝



成熟しても大きさが数ミリの小さな貝を「微小貝」と呼んでいます。琴引浜には数百種類もの微小貝が生息しているといわれます。

掛津砂丘



琴引浜の南には、なだらかな丘陵がみられます。この丘陵は12万年前に形成された古砂丘や、比較的新しい時代に形成された新砂丘でできています。琴引浜の砂は、この砂丘を供給源としています。

⑥ 離湖公園



離湖は京都府で最大の淡水湖です。この湖の周囲には多くの遺跡が確認されています。また、湖に突き出た半島は離山とよばれ、周囲には桜が数多く植えられ、花見も行われています。

クイズの答え

- ① 答え：2番のゴマノハグサ科です。漢字で洞庭藍(トウテイラン)と書きます。琴引浜を東限として鳥取県までの海岸沿いに自生する多年草です。中国の洞庭湖の水のような、るり色の花が咲くことから名づけられたといわれています。
- ② 答え：国の天然記念物・名勝。鳴き砂の浜としては全国で初めての指定です。

ジオコラム①

鳴き砂はなぜ鳴くの？

琴引浜の砂の主成分は石英です。石英の砂粒は、きれいな水や空気の中で充分洗われると、表面の摩擦係数が極端に大きくなるという特性があります。そのため、触れたり踏んだりして砂に力が加わったとき、ある限界まではもちこたえますが、さらに大きな力が加わると耐えきれずに動きます。動けば加わった力が開放されて砂は静止します。これを繰り返すことによって、砂粒がばらばらでなく一団となって振動して音が出るわけです。

反対に、タバコの灰などで少しでも汚れると砂はたちまち鳴かなくなります。普通の砂は石英の含有量が少なくともに、たいてい砂粒の表面が汚れていて鳴くことはありません。



ジオコラム②

琴引浜の地質

琴引浜は掛津の集落から海岸へ出て太鼓浜の岩石の礫を中心として、東西1.5km以上にわたって砂浜が連なります。西端の小浜側の岩石は波紋岩質の凝灰岩や溶岩ですが、太鼓浜から東と南の「山地・岩石」は浅海成の地層に凝灰岩や溶岩を挟みます。「古砂丘」は最終氷期(12万年前～1万年前)の砂丘砂のことですが、多くは12万年～10万年前のものです。「新砂丘」は1万年前以降の現在の砂丘砂です。

